

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

平成29年4月 3 日

市川市長

団体名 クリオネ

(団体番号 3)

代表者名 波多野真奈美

所在地 市川市新田2-12-11

平成28年 8月 12 日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

| | |
|---------------|----------|
| (1) 補助決定事業費総額 | 137,328円 |
| (2) 補助対象経費総額 | 118,890円 |
| (3) 補助金交付決定額 | 59,750円 |
| (4) 補助金交付概算払額 | 59,750円 |



(5) 実施報告

| | |
|---|---|
| 補助決定事業の名称 | 不登校の子どもをもつ親を支援する事業 |
| 補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。) | <p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第4土曜日に親の会 勤労福祉センター分館 のべ72名(市内63名、市外9名) ・6/11(土)体験談と懇談会『不登校を経て…今』 八幡市民談話室 講師 溝口友萌、吉田宗央(経験者) 参加者41名(市内24名、市外17名) ・2/25(土) 講演会『不登校の子どもと歩む』・同上 講師 光元和憲(ちば心理教育研究所所長) 参加者32名(市内15名、市外17名) <p>内容 講師と対話の形で悩みを話すことで、親の気持ちが楽になり、子供も元気を取り戻せる。</p> <p>名簿を作成してカウント</p> |
| 広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。) | <ul style="list-style-type: none"> ・市川市広報の市民の広場へ講演案内を出す ・以前の講演会参加者へチラシと案内を郵送 ・ミニコミ4誌へ講演案内を出す ・千葉県子どもと親のサポートセンターへ講演会のチラシを郵送 ・公民館等、市の施設、社協、教育センターにチラシ配布 ・近隣の不登校関係団体にチラシ配布 ・Fonte(不登校新聞)へ講演会案内 |
| 補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。) | <p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体支援補助金を受ける事で、会の事業を一般市民の人に知ってもらった。いい機会となった。 ・不登校の子どもへの支援への意識が高まっていると感じる。 ・講演会を開催できたことで、これまでの会員以外の親や、地域の子どもの支援者の参加があり、会の活動が少しずつ広がりはじめた。 ・子どもの支援を担う臨床心理士、教師、適応指導室の先生、看護師の参加もある。 ・毎回初めての参加の方も多。父親や祖父母等、母親以外の参加も増えている。 ・一方で、リピーターも増え、親の会への参加は出来ないが講演会には来るといふ方も多。 |
| 補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性) | <p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校の親の支援活動として、地域の中で活動をいかに広くお知らせするかを今後もさらに課題としていく。 ・不登校になってすぐに参加する方が増えている。広報が届いているという実感もあるが、さらに工夫していきたい。 ・各種関連団体を通じての広報も欠かせないと感じる。 ・小・中学校の状況はあまり変わっていないようだ。 ・しかし学校への働きかけは難しい。諦めずに働きかけていきたい。 ・不登校の子どもと親の支援をしている、他の民間団体との連携や教育関係機関との連携に、これからも工夫をしていく。 ・講演の内容としては満足していただいている。 ・今後も不登校の悩む親に対して、何よりもほっとしていただける安心感を伝えていきたい。 ・地域に住む不登校の子をもつ親の支援として、これからも意義を感じつつ地道に会の継続を続ける。 |

市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 不登校の子どもを持つ親を支援する事業

1【収入】

| 項目 | 金額 | 説明(積算等) |
|-----------|---------|--------------------------------------|
| 事業収入 | 71,800 | 例会300円*72人、体験談600円*41人、光元講演会800円*32人 |
| 寄附金収入 | 0 | |
| 補助金収入 | 59,750 | 市川市市民活動団体事業補助金 |
| その他(助成金等) | 5,000 | 市川市社会福祉協議会ボランティア団体助成金 |
| 会費充当 | 1,083 | 団体の本会計より充当 |
| 事業補助金返金 | -305 | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 合計 | 137,328 | |

2【支出】

| 項目 | 支出金額 | うち補助対象金額 | 説明(積算等) |
|---------|---------|----------|----------------------|
| 報償費 | 63,000 | 63,000 | 外部講師謝礼 3名 |
| 交通費 | 20,260 | 19,600 | スタッフ交通費、講演チラシ届け交通費 |
| 消耗品 | 7,224 | 6,800 | 用紙代700円、インク代2200円 他 |
| 印刷製本費 | 8,870 | 8,700 | 講演チラシ1200枚、プログラム等製作代 |
| 通信運搬費 | 14,562 | 14,000 | 郵送料(講演会のお知らせ等) 他 |
| 保険料 | 0 | 0 | |
| 使用及び賃借料 | 6,790 | 6,790 | 勤福分館、市民談話室使用料 |
| 原材料費 | 0 | 0 | |
| 食糧費 | 16,622 | 0 | 例会(親の会)、講演会 お茶と菓子代 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 合計 | 137,328 | 118,890 | |

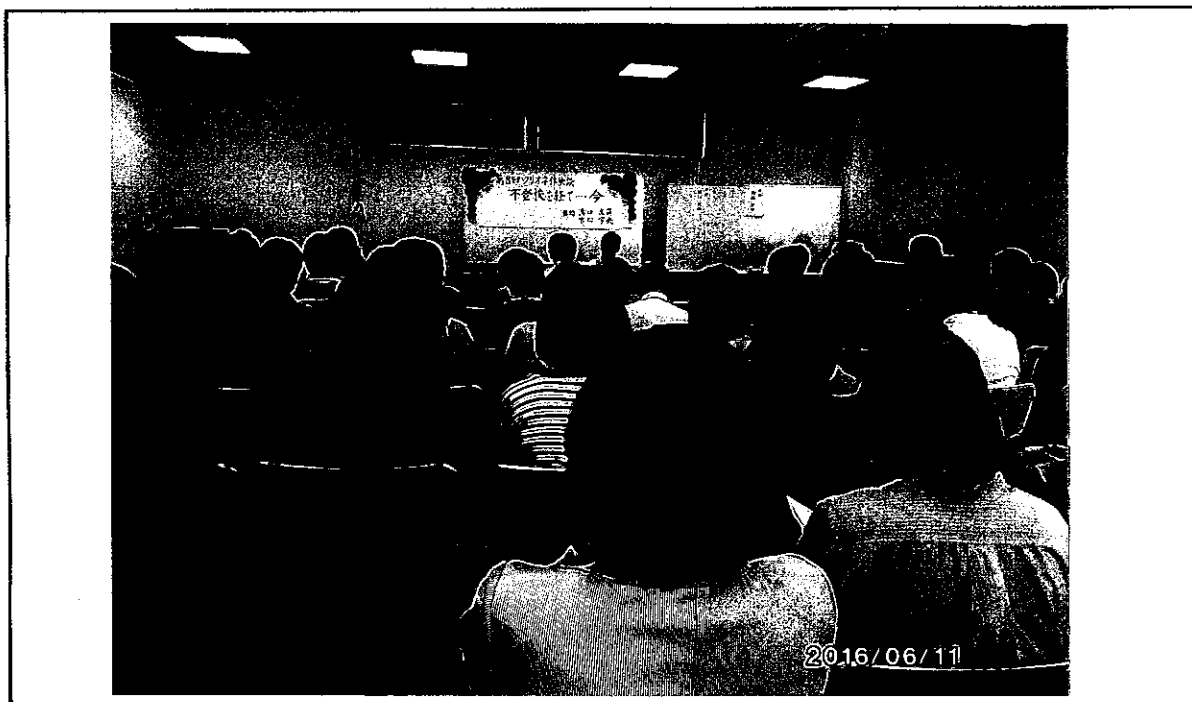
※ 領収書(原本)を添付してください。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル：「不登校を経て…今」不登校経験者による体験談と懇談会の様子

撮影年月日：平成28年6月11日



タイトル：「不登校の子どもと歩む」光元和憲先生との対話の会の様子

撮影年月日：平成29年2月25日

